ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課（☎65－6504）までお知らせください。
市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

https://www.facebook.com/nagahama.hotnews 「長浜　ほっとにゅーす」 検索

3月25日(金)～ 4月6日(水)
宇宙と太古のロマンを堪能

江北図書館で隕石と恐竜化石の展示が行われました。この展示は、子どもたちに科学への関心を持ってもらうとともに、図書館に足を運ぶきっかけになればと開かれたもので、隕石13点と恐竜化石33点が並べられました。展示の中には、「宇宙パワー実体感コーナー」として、隕石の実物や、隕石が落ちた衝撃でガラス状になったテクタイトと呼ばれる岩石に、直接触れることができるコーナーも用意され、来場者を喜ばせました。

3月26日(土)、27日(日)
暮らしの中で、うつわが育つ

北海道から長浜市へ移住してきた陶芸家、七尾佳洋さんとうた子さんのお家見学会と作品展覧会が開かれました。ところは北国街道木之本宿。明治８年の古民家を、住宅兼仕事場としてリノベーションし、昨年秋、長浜市へ引っ越してきました。佳洋さんは、「主に食器などの使える陶器を作っています。それを使うことでその人の暮らしに馴染み、色が変わるなど変化していくことを楽しんでほしい」と話しています。

4月2日(土)
見守りたい、子どもたちの晴れ舞台

木之本町の意富布良（おほふら）神社で例祭が行われました。

地元の子どもたちが可憐な巫女さんと稚児さんとなって、境内に花を咲かせました。その後、子どもみこしが町内を巡ってご加護をお祈り。３時間を越える長丁場でしたが、辻々で休憩しながら境内を目指しました。北国街道で、子どもたちを温かく見守る町内の人々の温かい眼差しが、伝統を受け継がれてきたと感じさせます。

4月2日(土)
『観音の里』を感じる春祭り

渡岸寺観音堂（向源寺）において「観音の里春まつり」が開かれました。

つきたて餅の振る舞い、獅子舞、福餅まきなど、心のこもったおもてなしで自然と頬も緩み、境内は笑顔が溢れました。福餅まきの主役、新一年生の子どもたちが可愛い法被姿でやぐらの上に登場。詰めかけた人々に元気いっぱい福餅をまく姿がさらに笑顔を誘いました。

4月4日(月)
本だからこその感動を

大塚産業グループの新入社員４人が教育委員会を訪れ、図書館資料（10万円相当）を寄贈しました。

長浜図書館の開館を契機に、地域人材の育成を目的に始まったこの寄贈は今年で33回目。この日は、代表の岩﨑望さんから「幅広く利用していただければ」と目録が手渡され、教育長は、「本だから得られる感動がある。とてもありがたく思います」と謝辞を述べました。

4月5日(火)
交通安全啓発体制が整いました

長浜市交通指導員に新たに51人が委嘱されました。うち13人は、警察官OBで組織する「滋賀県警友会」の長浜支部・伊香支部から推薦を受けて委嘱した方々で、豊富な知識と経験を生かして、交通安全啓発を進めていただきます。

交通指導員を警友会から推薦いただくのは、県内自治体初の試みで、全国的にも先進的なものです。２年間の任期中、自治会の交通安全教室の指導にあたっていただきます。

4月10日(日)
春の祭典で賑わいました

臨湖で、「イースターフェスタ」が開催されました。

イースターは、キリスト教徒にとって最も重要な祭日のことですが、臨湖では、子どもから高齢者まで楽しめるイベントとして催しています。会場には、約40店のフリーマーケットや手作りのワークショップができるブースが並んだほか、イースターにちなんだゲームが催され、多くの人で賑わいました。

4月13日(水)
長浜市連合自治会から貴重な提案

長浜市連合自治会は、このたび人口減少社会における施策等の提案書をまとめられ、長浜市長に提出しました。内容は少子化対策や雇用労働対策など幅広いもので、提案を受けて市長は「市民に寄り添った大変良い提案をいただいた。取組は行政だけでは難しいので、連合自治会にもご協力をいただきたい」と応じていました。